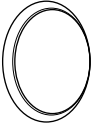
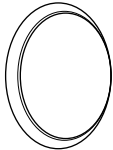
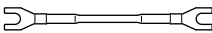


801 D4

802 D4

803 D4

1. 開梱

	2
	4
	4
	4

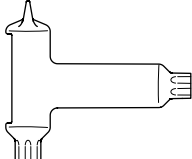
内容物

各ペアーのスピーカーの付属品

ミッドレンジグリル2枚
バスグリル4枚
リンクワイヤーケーブル(4本)
スタビライザー4本
スタビライザーキャップ4本
T45スタビライザー調整・ミッドレンジ・
エンドキャップ取り外しツール1本
トミーバー(スピーカー高さ調整用バー)
クリーニングクロス

801 D4、802 D4および803 D4ダイヤモンドは非常に重いので、このスピーカーを使用する部屋で、2人で開梱することを強くお勧めします。また、スピーカーの表面仕上げに傷が付かないよう、予防策として宝飾品を外す方がよいでしょう。

上の表は、801 D4、802 D4および803 D4に同梱されている構成部品を示しています。万が一いずれかが欠けていたら、スピーカーを購入された小売店に連絡してください。

	4
	1
	1
	1

グリルはすべて磁気で付いています。重いバス/ミッドレンジ用のグリルは、搬送中に動かないように別の仕切に入っています。

ご注意: マグネット装着式のグリルの着脱時には、本製品に傷をつけないように、注意して行ってください。グリルを落とすと、スピーカー/スタンドの台座に傷がつきます。グリルの着脱時に台座を覆うと、傷がつくことを防げます。

トゥイーター・ダイアフラムは非常にデリケートで傷つきやすい部品です。800シリーズ・ダイヤモンドには、様々な破損からトゥイーターを守るスチール製メッシュグリルが取り付けられていますが、それでも取り扱いや手入れは十分慎重に行ってください。

環境関連情報

本製品は以下を含む国際指令に準拠しています。

- 電子・電気機器における特定有害物質の使用制限 (RoHS)
- 化学物質の登録、評価、認可および制限 (REACH)
- 廃電気電子機器指令 (WEEE)

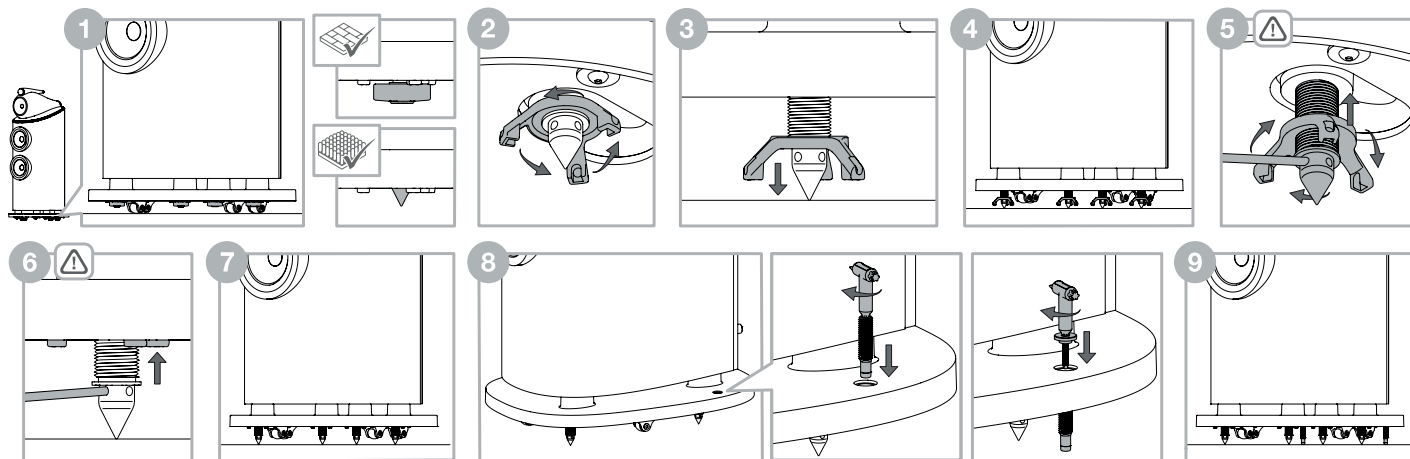
本製品の適切なリサイクルまたは処分方法の指針については現地の廃棄物処理当局に問い合わせてください。

この800シリーズダイヤモンドスピーカーのトゥイーターアセンブリーは、機械的にキャビネットの主要部分から分離されたコンポーネントです。このように、製品が最初にパッケージから取り外されたとき、緩んで見える場合があります。これは故障ではありません: それは本設計の本質的な特徴であり、あなたのスピーカーからの最適な性能を保証します。

輸送中にトゥイーターアセンブリーがわずかに動いてしまい、調整が必要な場合は、アセンブリーをこくわずかに前後に動かして、トゥイーター本体の後部がスピーカーキャビネットの後部と一致するようにすることができます。また、トゥイーターをわずかに回転させて、Bowers & Wilkinsのロゴが垂直方向になるようにすることもできます。これらの調整を行う際には、トゥイーターをやさしく動きが止まった位置以上に無理に押し込まないでください。

注: これらの調整を行うときは、デカップリングアセンブリーを損傷しないように注意する必要があります。トゥイーターアセンブリーの調整について疑問がある場合は、販売店に問い合わせてください。

2. 設置場所



スピーカーの設置

801 D4、802 D4および803 D4は、床置き専用に設計されています。位置を移動するときのためにホイールが装備されています。可能な限り、付属のスパイク脚を使用してスピーカーを床面にしっかりと立たせることが重要です。



重要 安全上の注意

鋭利なスパイクは触れないでください

補足: 設置場所のカーペットがとて厚く、ホイールが妨げとなってスピーカーがスパイクのみの上に載らないなどのために、台座底部のホイールを六角棒スパナ(5mm)を使用して外す場合、スピーカーは重量がありますから、作業は必ず二人で、一人がスピーカーを傾けて保持している間に、もう一人がホイールを外すという方法で行ってください。ホイールを取り外したり、取り付け直したりする際に、スピーカーを誤って床に落下するのを防ぐために、適切な布や木を使用することをお勧めします。

スピーカーを正しい位置に設置したら、台座に組み込まれているスパイクを外すことができます。台座と床面との間の隙間に指を入れると、4つのスパイクカップがあるのを確認できます。スピーカーを硬い床の上に置く場合は、床を保護するために、その位置にスパイクカップを置いたままにします。スピーカーをカーペットの上に置く場合は、磁気を帯びている4つのスパイクカップは取り外し、将来使用するときのために保管しておきます。スパイクカップがなくても、スパイクは位置を下げることができます。

各スパイク/スパイクカップの真上には、三つ叉ロックナットがあります。手順2の上記の指示を参照して、指でロックナットを回し、床面に向かってスパイク/スパイクカップを下げます。回す際にロックナットがきつすぎる場合は、三つ叉の1つの端にある穴に付属の金属棒を差し込んで回し、ロックナットを緩めます(上図を参照)。

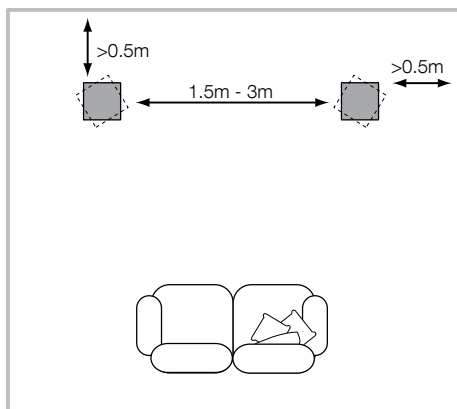
スパイク/スパイクカップが床面に届いたら、ロックナットを引き続き回して、スピーカーをホイールから持ち上げます。4つのスパイク/スパイクカップすべてでこの操作を繰り返し、高さを調整して、スピーカーが揺れたりせずしっかりと設置されていることを確認します。

スパイク/スパイクカップを所定の位置に固定するには、金属棒をスパイクの4つの穴の1つに挿入します。手順5の上記の指示を参照して、スパイクが回らないように金属棒を使用して、ロックナットを回します。ロックナットが緩んだら、金属棒を取り外し、台座に固定されていた位置にスパイクが戻るまで、さらに回し続けます。金属棒を再度スパイクの4つの穴の1つに差し込み、ロックナットが所定の位置にしっかりと固定されていることを確認します。金属棒が所定の位置にスパイクを固定している状態で、指でロックナットを回らなくなるまで回します。各スパイクでこの操作を繰り返します。

スパイクが所定の位置に固定されたら、スピーカーが倒って倒されるリスクを最小限に抑えるために、スタビライザーを固定します。T45ツールを使用してスタビライザーを時計回りに回し、ゴムの先端が床に固定されるまでスタビライザーを所定の位置に下げます。

スパイクに重みがないと安定性が低下し、性能が損なわれることを避けるために、スタビライザーを過度に締めないでください。これにより、安定性が低下し、パフォーマンスが低下します。スタビライザーが所定の位置に下がったら、キャップをスタビライザーの上部にねじ込み、台座のくぼみに収まるまでT45ツールで静かに締めます。

スピーカーの位置を変える必要がある場合は、スタビライザーキャップを取り外し、スタビライザーを持ち上げ、スパイクを台座に戻してから製品を移動します。これを行うには、T45ツールを使用して反時計回りに回してスタビライザーキャップを取り外し、次にT45ツールを使用して反時計回りに回してスタビライザーを持ち上げます。スタビライザーが上がったら、金属棒をスパイクの4つの穴の1つに挿入し、金属棒がスパイクを所定の位置に保持した状態で、上記の手順2の手順に従って、指を使用してロックナットを回します。引き続きロックナットを回らなくなるまで回します。このことはロックナットとスパイクが噛み合っていることを示しています。ここで、手順3の上記の指示を参照して、ロックナットを回してください。スパイクが上昇して台座に戻り始めます。スパイクが台座に戻ったら、(取り外していた場合は)スパイクカップを置き換えます。これでスピーカーの位置を移動することができます。

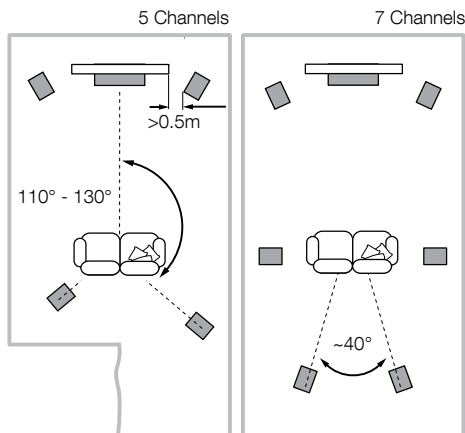


スピーカー設置位置

ステレオ又はホームシアターのどちらの場合でも、スピーカーの設置はそれぞれのスピーカーの設置環境が、音響的特性において同じになるように行ってください。例えば片方のスピーカーが露出した壁のすぐ近くに設置され、もう一方のスピーカーが軟らかい家具やカーテンの近くに設置されたとします。この場合は、総合的なサウンドクオリティとステレオイメージの両面で妥協した形になります。

従来のステレオシステム

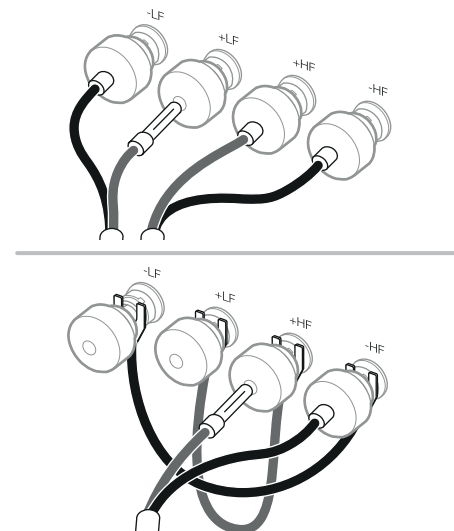
始めに、左右のスピーカーを1.5mから3m離して設置し、次に左右のスピーカーがリスニングポジションを頂点とした2等辺三角形の位置になるように設置します。スピーカーは、背面および側壁から少なくとも0.5m離して配置する必要があります(上の図のように)。



ホームシアターシステム

ホームシアターシステムのフロントチャンネルにこのスピーカーを使用する場合、サラウンドチャンネルが広がりのあるサウンドイメージを作る傾向にあるので、2チャンネルオーディオ(ステレオシステム)セッティングより左右のスピーカーが近くになるように設置してください。また映像のイメージとサウンドイメージのスケールが一致するように、フロントスピーカーはスクリーンの横から約0.5m以内に設置するようにしてください。ステレオセッティングと同様に、スピーカーはあらゆる壁から約0.5m以上離して設置することが理想的です。

3. 接続



重要安全上の注意

すべての接続は、オーディオ機器の電源をオフにして行う必要があります。電源を入れたままでの操作でオーディオ機器の結線をする場合、絶縁されていないスピーカー端子に触れたり、配線したりすると、不快な感覚が生じることがあります。

801 D4、802 D4および803 D4ダイヤモンドスピーカーの端子は様々なケーブル端子に対応しています。4mm バナナプラグ、6mm および 8mm (1/4 インチ) および 5/16 インチ) スペードプラグ、または直径最大 4mm (5/32インチ) までの裸線などです。

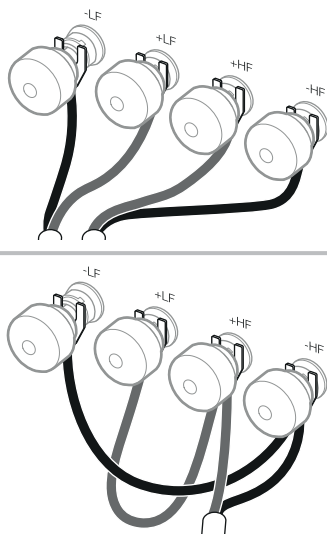


重要な安全上の注意

特にヨーロッパ諸国などの一部の国では、4mmバナナプラグは、シャッターのない電源ソケットの穴に挿入される可能性があるため、潜在的に安全上の危険があると考えられています。欧州の CENELEC 安全規則に準拠するため、端子の先端の 4mmの穴はプラスチック・ピンで塞がれています。これらの条件が適用される国でこの製品を使用する場合は、子供や知識のない人物が危険な方法でバナナプラグを使用できないようにしてください。バナナプラグを使用する場合は、プラスチックピンを取り外してください。

スピーカー・ケーブルを選ぶ際には販売店に問い合わせてください。総インピーダンスはスピーカーの仕様で推奨される最大値より低くし、低インダクタンス・ケーブルを用いて高音域が減衰しないようにしてください。

4. 微調整と慣らし運転



各スピーカーの背面には、バイ・ワイヤリングが可能な2組の端子があります(左上)。従来のシングル・ワイヤ接続を行う場合は、付属のリンク・ワイヤで同じ極性の端子をつないでください。バイ・ワイヤリングにすると低域のディテールのレゾリューションを改善することができます。

スピーカーのプラス端子(赤いリング)をアンプのプラス出力端子に、スピーカーのマイナスの端子(黒いリング)をアンプのマイナス出力端子に必ず接続してください。接続を誤っても破損することはありませんが、音像が損なわれ、低音が失われます。端子のキャップは必ず完全に下まで回して締め、ガタつかないようにしてください。

ファインチューニングの前に、もう一度全ての設置と接続が正しく且つ安全に行われているか確認して下さい。

一般的に壁からスピーカーを遠ざけると低音域の量が少なくなります。スピーカーの後ろにスペースをつくることによって、音場の奥行き感を得ることができます。逆に言えばスピーカーを壁に近づけることによって低音域のボリュームを増やすことができます。壁からの距離を変えずにスピーカーに低音域のふくらみを低減させたい場合には、スピーカーのバスレフポートにフォームプラグ挿入してみてください。

もし低域が周波数的にフラットではないと思われたら、それはリスニングルームの共振モードのために発生している可能性があります。スピーカーの位置又はリスニングポジション等の小さな変更で、これらの共振の影響が改善される場合もあります。リスニングポジションを移動するか、または異なった壁に沿ってスピーカーの設置位置を変更してみてください。大きな家具の位置や配置の共振モードに影響します。

センターイメージのフォーカスがあいまいな場合は、左右のスピーカーの間隔をもっと狭めるか、スピーカーの設置角度をリスニングポジションの前に合わせ、もっと内側に向けると改善される場合があります。

再生した音が高音域に偏っていると感じられた時は、部屋に音を吸収するような柔らかい家具等を増やしてみてください。(例えば重たいカーテンを使用する等)おそらくサウンドバランスを整える助けとなります。また逆に、再生した音がこもった感じになった場合は、それらの家具を減らしてみてください。

最もシャープな音を聞きたい場合は、バス/ミッドレンジのグリルの端をつかんでキャビネットからそっと引っ張り、グリルを取り外してください。

スピーカーの性能は、御使用になるにつれて微妙に変化します。スピーカーが冷たい環境に保管されていた場合、ドライブユニットのダンピング材とサスペンションが本来の機械的特性を取り戻すまで、しばらく時間が掛かります。ドライブユニットのサスペンションは音量やソースにもよりますが、鳴らし始めてから1時間くらいで徐々にほぐれてきます。スピーカーが意図された性能を取り戻すまでにかかる時間は、開梱までの保管条件や、どの様に使用されるかによって異なります。目安としては、温度による影響を安定させる為、ご使用される状況で1週間、また意図されたデザイン特性に達するために、平均15時間スピーカーを鳴らすことを見込んでください。

5. お手入れ

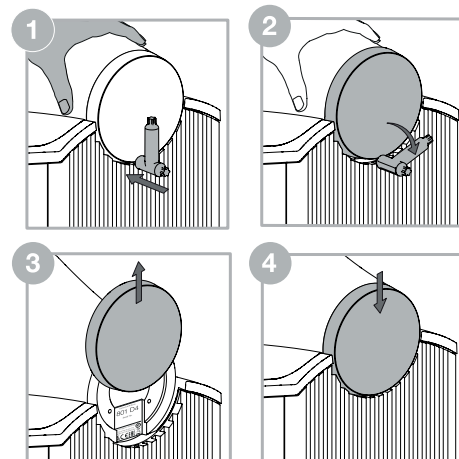
キャビネットの表面は、普段はほこりを払うだけで十分です。製品付属の布を使用することをお勧めします。スプレー式クリーナー等のクリーナーを使用する場合は、一部のクリーナーでは表面にダメージを与えることもありますので、クリーナーを直接製品に吹き付けるのではなく、布に吹き付けて、まず狭い範囲で試してください。ドライブ・ユニットにはクリーナーを使用しないでください。ダメージを与える可能性がありますので、ドライブ・ユニットには触れないで下さい。

Bowers & Wilkinsでは、リアルウッド仕上げのスピーカーには最高級の化粧板を選び、色の経年変化を最小限にする紫外線抵抗色のカラー塗料で処理しています。それでも、あらゆる自然素材と同様に、化粧板は、環境の影響を受け、ある程度の色の変化が予想されます。色の変化は、化粧板の全表面を、色が一樣になるまでむらなく均等に日光をあてることで修正できます。この処理には数日または数週間かかる場合がありますが、紫外線ランプを注意して使用することで所要時間を短縮することができます。また、化粧板の表面に亀裂が入る可能性を最小限に抑えるために、ラジエーターや暖気排出口等の直接的な熱源から離れた場所に置いてください。

トゥイーターハウジングには、取り扱い時に表面に跡が残る可能性のある質感加工された表面仕上げであり、表面の質感に合わせて、付属のクリーニングクロスでハウジングの周りを拭いてクリーニングする必要があります。

800シリーズDiamondラウドスピーカーのレザーで覆われた表面は、柔らかな乾いた布を使ってほこりを落とすことができます。染みがついた場合は、マイクロファイバークロスをぬるま湯で湿らせて、レザーを軽くたたくようにして、染みを取ってください。レザーをクロスでこすったり、洗剤を使ったり、レザーポリッシュ(皮革用艶だし)を使用しないでください。本製品を傷める恐れがあります。

6. シリアルナンバーとモデル情報の提示



800シリーズDiamondスピーカーについてカスタマーサービスチームと話す必要がある場合、お客様固有のスピーカーを説明するモデル名(FP)とシリアルナンバーを提示する必要があるかもしれません。これらの番号は、製品が納入された外箱とミッドレンジエンドキャップの下に記載されています。

ミッドレンジエンドキャップは、片手でミッドレンジヘッドを安定させてから、もう片方の手で取り外しツールのウェッジエンドをエンドキャップとヒートシンクの上に慎重に挿入することで取り外すことができます。ウェッジツールを慎重にねじってエンドキャップを外し、エンドキャップを手で上にスライドさせると、シリアルナンバーとモデル情報が表示されます。

注: エンドキャップを取り外して再装着する際には、エンドキャップ、ヘッド、ヒートシンク、およびその周辺の部品を損傷しないように注意してください。

エンドキャップは、後頭部のマウントにスライドして戻し、下向きに軽く押しつけて静止位置に戻すことで交換することができます。

Bowers & Wilkins

B&W Group Ltd
Dale Road
Worthing West Sussex
BN11 2BH England

EU Importer:
Bowers & Wilkins
Beemdstraat 11
5653 MA Eindhoven
The Netherlands

Copyright © B&W Group Ltd. E&OE
Printed in England